

特別支援学校設置場所について

1 設置場所の選定条件

市立特別支援学校の設置には、既存の学校施設（空き教室等）も活用し、不足する教室については増築により確保することから、設置場所の選定に当たっては、3つの条件で併置校の検討を行いました。

条件1 市北部方面への設置

- ① 松本養護学校及び寿台養護学校が市南部に立地していることから、市立特別支援学校は、市北部方面からのアクセスを重視
- ② 日常的な地域交流の視点から、小中高校・大学、商業施設などに近い市街地とする（県内の多くの特別支援学校が都市部郊外に立地）。

条件2 校舎増築場所の確保

不足する教室は増築により対応。必要な増築部分は、既存校舎との接続を重視し、増築棟が建設できる敷地を確保

条件3 中学部の検討（同学年と継続して学ぶ）

- ① 同学年での学び合いができる環境とするため、特別支援学校の小学部は小学校に併置、中学部は中学校へ併置
- ② 友人関係が継続するよう、小学校の卒業生が多く進学する中学校に中学部を設置（小・中学校間の接続）

2 源池小学校について

条件1 市北部方面への設置

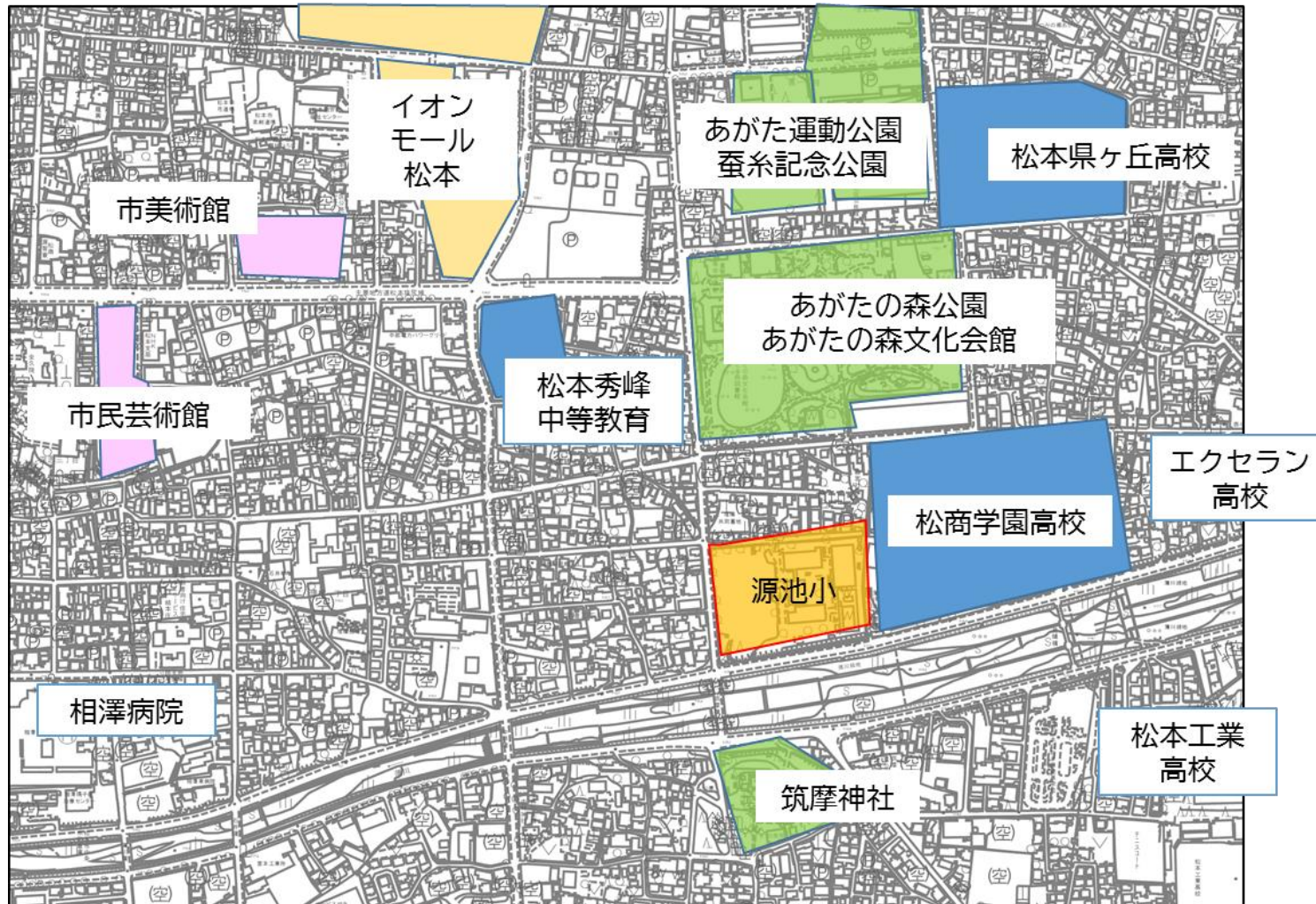
- ① 市立特別支援学校は、市北部方面からのアクセスを重視
- ② 日常的な地域交流の視点から、小中高校・大学、商業施設などに近い市街地とする。

○源池小学校の状況

- ・市内北部地域の市街地に立地
- ・主要道路と接続し、利便性高い。
- ・周辺施設が充実し、学びの場や交流機会創出の可能性が広がっている。

高校（松商学園高校、松本県ヶ丘高校、松本工業高校、エクセラン高校）、中等教育学校（松本秀峰中等教育学校）、文教施設（松本市芸術館、まつもと市民芸術館、あがたの森文化会館など）、公園（薄川緑地、あがたの森公園、あがた運動公園など）、商業施設（イオンモール松本など）

源池小学校周辺の状況



2 源池小学校について

条件2 校舎増築場所の確保

不足する教室は増築により対応。必要な増築部分は、既存校舎との接続を重視し、増築棟が建設できる敷地を確保

(1) 増築場所について

源池小学校は、在籍児童数は減少しているが、特別支援学級の増加などにより、十分な空き教室の確保は難しいことから、校舎の増築を行い、特別支援学校の教室に充てる必要がある。

学校プールは、施設整備から民間委託に移行する方針であり、既存プールを令和8年度で使用廃止する予定で、プール敷地を校舎増築場所と想定

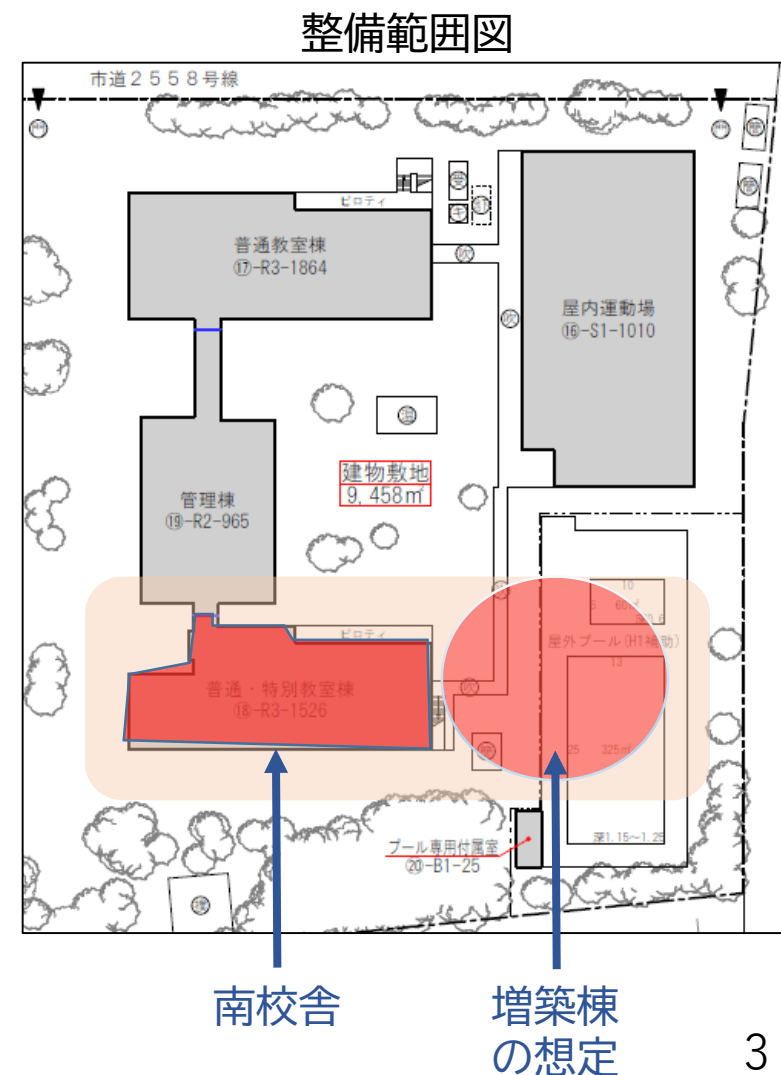
(2) 既存校舎との接続

接続が想定される南校舎は、低学年（1、2年生）、特別支援学級及び特別教室（音楽室、家庭科室）が配置されており、日常的な交流や遊び、特別教室での活動が期待される。

源池小学校校舎は、昭和62年度に改築され、40年を経過しようとしており、校舎増築に合わせ、既存校舎の長寿命化改良事業を計画

(3) 課題等

自家用車や福祉施設車両等の送迎動線や、教職員及び保護者の駐車スペースの確保



2 源池小学校について

条件3 中学部の検討（同学年と継続して学ぶ）

- ① 同学年での学び合いができる環境とするため、特別支援学校の小学部は小学校に併置、中学部は中学校へ併置
- ② 友人関係が継続するよう、小学校の卒業生が多く進学する中学校に中学部を設置（小・中学校間の接続）

○清水中学校について

- ・校地の使い方に比較的余裕がある。
- ・肢体不自由学級が設置されており、エレベーターを設置済み
- ・昭和62年度の改築から40年が経過しようとしており、長寿命化改良事業と合わせて、令和14年度の特別支援学校中学部設置を見据えた校舎整備が可能
- ・源池小から共に進学する割合は90%以上で小・中学校間の接続性が高い。

岡田小・女鳥羽中学校への併置を希望する意見もあるが、周辺道路が狭あいであり、校舎増築場所の確保が困難。

また、岡田小・女鳥羽中には、あさひ分校が設置、旭町小・旭町中には、桐分校及び院内学級が設置されており、学校運営上の負担が大きい。

清水中学校校舎配置図

